

科目名	生徒・進路指導論			担当教員	後藤 綾文	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2EPG105
期待される学修成果	子ども理解 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	臨床心理士・公認心理師					
実務経験を生かした授業内容	スクールカウンセラーとして小中学校に勤務してきた経験を生かし、子どもへの指導、対応について講義する。					
到達目標及びテーマ	生徒指導および進路指導の意義や理論を学ぶことにより、学校生活の中でそれらを活かすための具体的な方法について考えることを全体のテーマとする。授業の到達目標は次の3点である。(1)生徒指導や進路指導にかかわる資料を正しく読める、(2)生徒指導やキャリア教育の目的、意義や機能、今日的課題を説明できる、(3)生徒指導やキャリア教育の基礎的知識を踏まえ、具体的事例についてグループで議論しながら考察を深めることができる。					
授業の概要	生徒指導、進路指導ともに具体的事例を示しながら、子どもたちを取り巻く現代社会の変化を理解し、踏まえながら考察を進めていく。生徒指導については、生徒指導にかかわる資料を読み解き、生徒理解を助ける理論を理解した上で、具体的事例について考察していく。進路指導についても具体的事例をまじえ、キャリア教育の理念および具体的な方法や指導体制について考察を深めていく。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③】					

授業計画	
第1回	講義全体の概要と学習目標の理解
第2回	生徒指導とは何かーその位置づけと意味づけー
第3回	生徒指導の意義・機能
第4回	生徒指導の方法
第5回	各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導
第6回	生徒指導の体制
第7回	児童生徒の人間関係
第8回	いじめ問題のメカニズム
第9回	いじめ問題の対策
第10回	不登校の問題と対策
第11回	進路指導・キャリア教育とは何かーその位置づけと意味づけー
第12回	進路指導・キャリア教育を支える理論
第13回	キャリア教育の進め方
第14回	さまざまなキャリア教育の実践
第15回	受講生の進路指導・キャリア教育に関する経験的事例を基にしたグループ討議

事前学修	2時間	事前に配付した資料を精読しておくこと。
事後学修	2時間	小課題を課すので、講義内容を復習しながら課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の内容について提出後の授業で解説する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	70%	重要語句の意味や定義の理解、および生徒指導・進路指導の方法に関する理解をはかる。
レポート	20%	授業の中でレポート課題を出す。授業内容を踏まえたレポートの作成が求められる。

上記以外の試験・平常点評価	10%	授業内の小課題に対する取り組み等により評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 小学校学習指導要領 中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 生徒指導提要（改訂版） 小学校キャリア教育の手引き 中学校・高等学校キャリア教育の手引き			